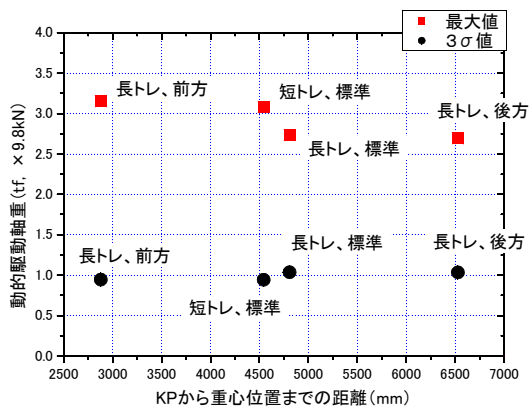
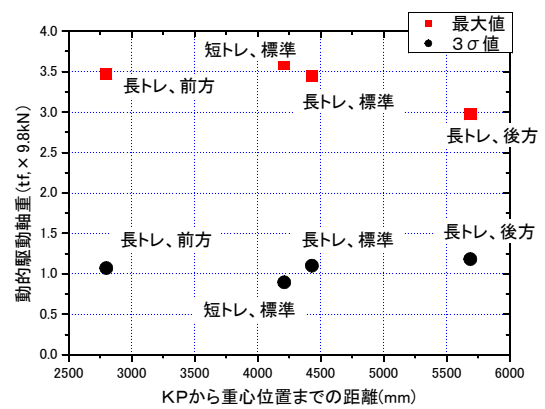


(3) 動的軸重の最大値および頻度分布の比較

道路走行時の動的軸重の最大値および上位 3 σ 値（平均値よりも標準偏差の 3 倍分大きな値）の比較結果を図-2.2.25、動的軸重の頻度分布を図-2.2.26 から図-2.2.29 に示す。なお、動的軸重の頻度分布は、1/200 秒間隔で取得した軸重データを基にして、0.5 トン幅の階級を設定し、各階級毎のデータ数をカウントすることにより作成した。トレーラ条件と動的軸重の最大値との関係は、トレーラの重心位置がキングピン位置に近づく場合に大きくなる傾向を有しているが、上位 3 σ 値で見ると、トレーラの重心位置がキングピン位置と軸重には大きな傾向は見られない、もしくは、キングピンに近づく場合に微減している。また、エアサスとリーフサスの最大軸重の比較とすると、リーフサスの方が若干多めに動的軸重が発生していることが分かる。

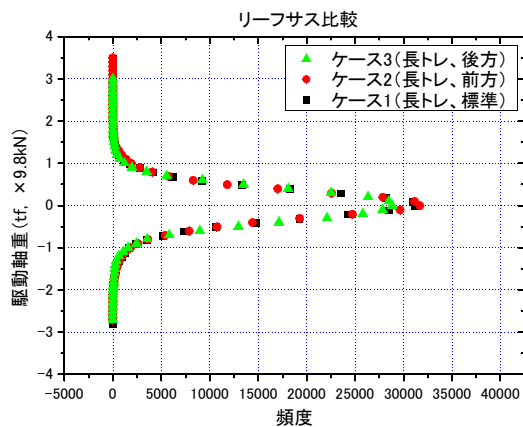


(a) エアサス

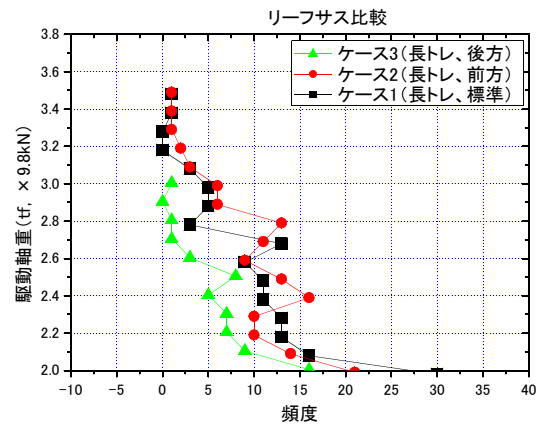


(b) リーフサス

図-2.2.25 動的軸重の最大値の比較



(a) 頻度分布



(b) 最大値付近拡大図

図-2.2.26 動的軸重の頻度分布（長トレーラ・リーフサス）